



平成 18 年 11 月 21 日

各 位

横浜市西区みなとみらい 2 丁目 2 番 1 号
株 式 会 社 シ ス テ ム プ ロ
代表取締役社長 逸 見 愛 親
(コード番号：2317 東証第一部)
問い合わせ先 取締役管理本部長 国 分 靖 哲
電 話 番 号 0 4 5 (6 4 0) 1 4 0 1 (代)
U R L <http://www.systempro.co.jp>

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 18 年 5 月 26 日に公表いたしました平成 18 年 10 月期（平成 17 年 11 月 1 日～平成 18 年 10 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 10 月期連結業績予想数値の修正（平成 17 年 11 月 1 日～平成 18 年 10 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 18 年 5 月 26 日発表)	5,578	870	505
今 回 修 正 予 想 (B)	5,917	966	601
増 減 額 (B-A)	339	96	96
増 減 率 (%)	6.1	11.0	19.0
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 10 月期)	4,180	691	561

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 2,601 円 73 銭

2. 平成 18 年 10 月期業績予想数値の修正（平成 17 年 11 月 1 日～平成 18 年 10 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 18 年 5 月 26 日発表)	4,977	870	481
今 回 修 正 予 想 (B)	5,239	928	526
増 減 額 (B-A)	262	58	45
増 減 率 (%)	5.3	6.7	9.4
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 10 月期)	3,942	710	573

(参考) 1 株当たり予想当期純利益 (通期) 2,277 円 06 銭

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

3. 修正の理由

当社個別につきまして、番号ポータビリティ（継続）制度開始に伴う移動体通信業界各社の新サービス拡充・新機種投入に伴い旺盛な開発需要が続いております。このような中、高度な専門知識を要する携帯電話端末の設計・開発・検証業務を得意とするモバイルネットワーク事業において当初計画を大幅に上回りました。

具体的には、音楽再生や地上波デジタル放送対応の動画再生等のマルチメディア機能の拡充等、3.5世代向けソフトウェア開発需要の増加に伴い絶好調の受注状況が続いております。

また、auが採用している携帯電話向けのソフトウェア実行環境であるBREWの開発ニーズが高まっていることで、当社の豊富な携帯電話端末開発経験に基づく高い技術が評価され、BREWプラットフォームの開発が増加したこと等により、前回公表いたしました業績予想に対し売上高が増加し、これらに伴う利益の増加によって、経常利益、当期純利益ともに増加し、上記見通しとなりました。

当社グループ（当社及び当社の関係会社）につきましても、連結子会社では、株式会社フラグシップにおいて、金融系・エンターテインメント系ポータルサイトの新規開発並びにIP電話開発関連事業等の受注が大幅に拡大しております。

また、株式会社ProVisionにおきましては、品質評価専門部門の立ち上げのための大幅な人員増強に伴う先行投資を予想より早く吸収し月次で黒字化するなど好調に推移する見込みであること、更には、持分法適用関連会社の株式会社リエンクリプション・テクノロジーズにおいて、セキュリティ関連ソフトウェアの開発が完了し「リエンクリプション・ネクスト」を9月から販売を開始したこと等により、予想を上回る見込みであることから、上記の見通しとなりました。

以上

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。